

第45回経営協議会議事概要

日 時 平成23年12月16日(金) 16時00分～17時40分
場 所 事務局特別会議室
出席者 中村(議長), 脇坂, 古川, 田中, 生田, 山崎, 山本, 笠井, 石田, 國澤, 中川, 森
陪席者 長野, 樫見, 櫻井, 濱田
欠席者 川本, 坂根, 新木, 山岸

1 前回議事確認

第44回経営協議会(11月22日開催)

2 協 議

(1) 平成23年度国立大学法人金沢大学年度計画の一部変更について

議長から、国の平成23年度補正予算(第3号)の成立に伴い、平成23年度年度計画を変更する必要性が生じたことについて説明があった後、情報担当理事から、[資料1]に基づき、詳細説明が行われ、承認された。

(2) 平成23年度補正予算について

議長から、平成23年度の補正予算の編成について説明があった後、財務・附属病院担当理事から、[資料2]に基づき、詳細説明が行われ、承認された。

(3) 看護師確保のための処遇改善に係る諸規程の改正について

議長から、前回の本会議(第44回経営協議会・平成23年11月22日開催)で看護師確保のための処遇改善に係る方針が審議・承認され、この方針に基づいた諸規程の改正を行うことが説明された後、総務・人事担当理事から、[資料3]に基づき、詳細説明が行われ、承認された。

3 報 告

(1) 研究費の経理状況に係る調査結果について

財務・附属病院担当理事から、[資料4]に基づき、文部科学省から不適切な経理の有無について調査依頼があり、調査の結果、本学における研究費の経理状況は「適正」であることが報告された。なお、その際に未提出の教職員・業者に対する追跡調査の内容、研究費の適切な執行を担保するための組織の有無等について、質疑応答が行われた。

4 その他

(1) 国立大学協会臨時学長懇談会の報告

議長から、平成23年12月5日に開催された標記懇談会において、平成24年度における文部科学省の概算要求の概要についての説明とともに、[机上配布資料]に基づき、行政刷新会議の提言型政策仕分けにおける大学改革の方向性のあり方に関する評価結果の説明、並びに、公務員の給与改定に関する取扱い等についての説明があったことの報告があった。

5 意見交換

本学の運営，特に入試，広報に関し，意見交換が行われた。

- 近年，受験生が減少しているのではないか。地元だけでなく，東京，大阪，名古屋などで入試を行わないのか。

→ 志願倍率は以前からさほど高くはない。志願倍率が低下すると学生の質が低下することにつながるが，現状では質の低下は特筆すべきものではない。現時点においても，志願倍率を上げるために高校に対して様々な働きかけを行っている。

他の場所で入試を行うことについては，効果やコスト等を十分に考慮しつつ，今後検討することとしたい。

- 東京事務所の職員が高校を回っても，東京で入試を行うか否かで対応が変わると聞いている。

→ 東京で入試を実施することは，コストの問題，本学においては首都圏の志願者が少ないこと，東京には大学が多くあり東京で完結している現状を考えると多くの志願者を確保できるかは不明

- 「3学域・16学類」について，3学域を強調しすぎではないか。16学類もあり，16学類は幅広い課題に対応できる柔軟な教育組織であることを強調すべきでないか。

- 角間キャンパスは交通アクセスが悪いので，学生が自動車で通学できるよう駐車場の整備を行ってはどうか。

- 教員数は本当に足りているのか。他の大学と比べて事務職員の数が多いのではないか。仮に事務職員の数が多いのならば，広報に重点を置くべきではないか。長期低落傾向であり，大学としてのアピールが不足しているように感じる。

- 東京にいるとなかなか金沢大学に関する情報がなく，もどかしいものがある。各種ランキングにこだわらず教育研究活動を着実に進めて欲しい。

- 国立大学は，全体的に広報は上手ではない。金沢大学は全国から学生を集めずに近隣地区で学生を募集し，質を上げることも検討すべき。大学はグローバル化する一方で，近隣地区で学生を募集するのも一つの方法でもあるのではないか。

- 平成27年度に北陸新幹線が開通する。東京から2時間半もかからず到着すること，金沢は京都と同様に良いイメージを持つ都市であることを念頭に置いて，Facebookなどの新たな媒体で差別化した広報活動を行ってはどうか。

→ 3学域・16学類に対する評価は，卒業生が社会に出てからその評価が定まると思われる。交通アクセスについては，学生の居住地が大学周辺にあり，駐車場の整備によってバスの利用率が落ち，減便されることも考えられる。教員数については，設置基準に定められているので，大学によって大きな差はないと思われる。

広報は誰を相手にするのが大切。アンケートでは金沢大学を知った媒体としてはホームページ，広報誌が上位となる。ホームページは整備を進めているし，広報誌は用途に応じて作り分けている。

- 新幹線が開通することにより、金沢が若者にとって住みやすいと思えるような街づくり、また、国際学会が開催できるような街中での会議場の建設などソフト面、ハード面での総合的な政策が必要ではないか。
- 金沢は住みやすい街であり、金沢大学は司法試験の合格者数、科学研究費補助金を始めとする各種外部資金の獲得で頑張っている。このような状況をステークホルダーにきちんと説明すべきではないか。

次回開催予定

第45回経営協議会 12月16日（金） 15時30分から